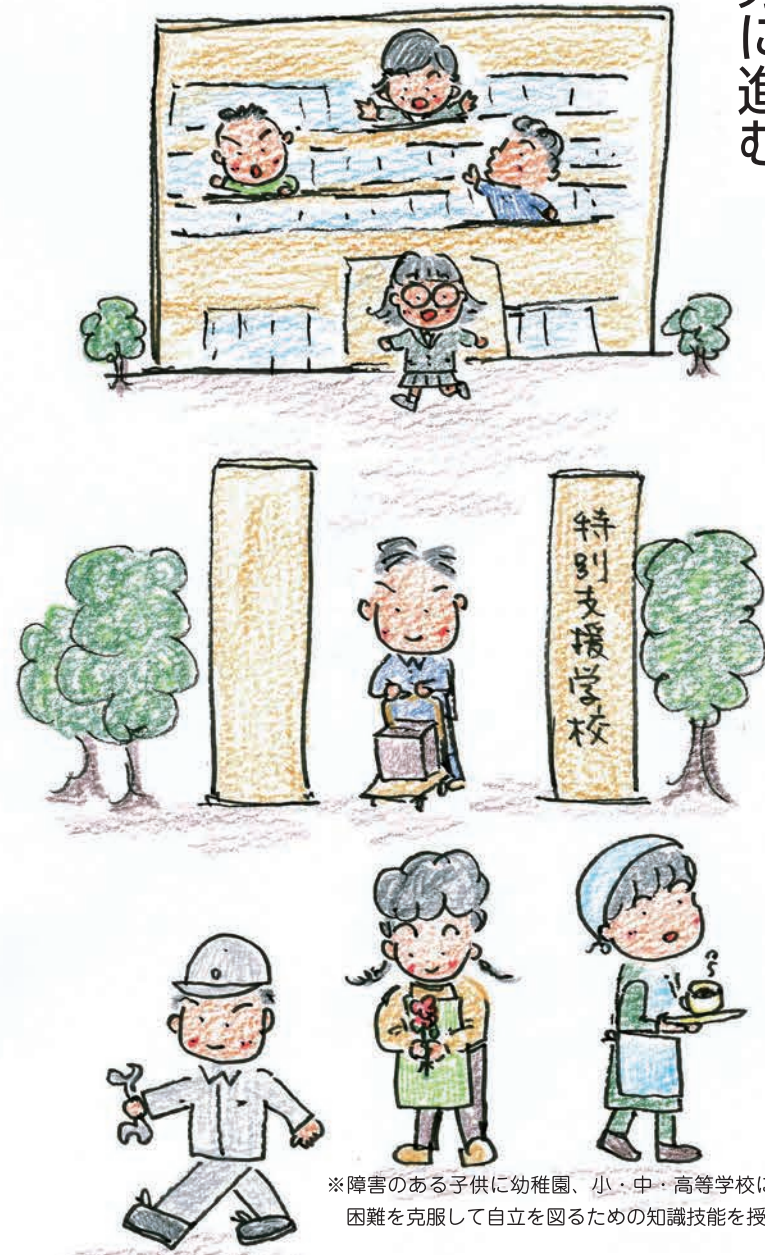


がんばつているね



私が勤務する特別支援学校（※高等部には、120人の生徒が通っている。3年生は40人。毎年、卒業生の3〜4割が一般就労、あとのほとんどが福祉的就労に進む。



※障害のある子供に幼稚園、小・中・高等学校に準ずる教育、障害による困難を克服して自立を図るための知識技能を授ける目的の学校。

私はこれまで、学級担任をしていたが、今年から進路指導の担当になった。学校で生徒たちと接する毎日から、企業への訪問がメインになった。



初めまして
特別支援学校の高橋です

福祉的就労とは、「就労継続支援事業所(※)」などで働いて賃金や工賃を得る働き方。こうした事業所では、製品を作って販売したり、企業から軽作業を受託したりしている。



※就労継続支援事業所＝一般就労が困難な障害のある方に、支援をしながら生産活動などの機会を持ってもらう事業所。A型(雇用契約に基づき賃金を支払う)、B型(雇用契約を結ばず工賃を支払う)がある。

それに対して一般就労とは、企業や公的機関で働いて賃金を得る働き方。障害があっても、障害者手帳を取得している人は、一般就労の障害者枠で働くことになる。



この特別支援学校の卒業生も、様々な企業で働いている。

一般就労を希望する生徒たちは、1年時の後期から
2・3年時の前後期と、在学中に5回の職場実習に行く。
職場実習とは、その名の通り働く現場で働く経験を積むことだ。

生徒の特性、希望、保護者の考えなどを
総合的に考え、実習先を決める。

そのために、生徒の得意不得意を
思い浮かべながら、
企業に実習の打診をするのだ。

計算は苦手ですが、
作業は丁寧に行うことのできる生徒です
こちらの会社の食品製造ラインで
実習をさせていただけないでしょうか

そうですね
できあがった商品をコンテナに積んで運ぶ
作業なども、してもらったことができるかも
しれませんね

ありがとうございます

実習は2週間程度。

初日と翌日は学級担任が付き添って一緒に仕事をし、私も1〜2回は巡回をする。

これまで学校での生活がメインだった生徒が、ひとりで初めての企業に行って初めての仕事をするプレッシャーは大きいだろう。

順調にいく生徒ばかりではない。

途中で調子を崩したり、職場の人達と

うまくコミュニケーションを取ることができなかったり…

具体的な指示を出してもらう方が、細山さんには理解しやすいですね



各学年、時期をずらしているとは言え、担任と連絡を取り合い、走り回る毎日だ。

あ、そうですね



山本くんが電車で乗り遅れたようで実習先に遅刻するそうです

会社には山本くんから連絡を入れてくれたのかな確認してください

担当の方にそう伝えます



どーも、やれぬー？



実習の最後は、本人、保護者、学級担任、受入れ企業とで
 「振り返り」をする。企業の評価を聞き、改善点を探り、次の
 実習や、3年後期なら就職につなげる。何度か実習をした
 企業だと、本人も企業もお互いの様子がわかっているの、
 より良いマッチングにつながる。

元気なあいさつ
 と真面目な仕事
 ぶりに、現場の
 みんなも気合いが
 入ったそうですよ



てほん
 手本を見せて
 さきよう
 作業の指示をして
 くださったのが、本人には
 りかい
 理解しやすかったようです



むすこ
 息子が働く姿を初めて見て、
 がんばってほしいと思いました

たちっぱなしで
 疲れたけど、
 やす
 休み時間に
 みんな優しく
 たの
 楽しかったです



この学校では、実習先の開拓時から他機関とのネットワークを生かしている。行政や就労支援機関、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、そして他の特別支援学校など、連携体制を強化して情報共有をしている。



■行政

あたらしい
新しくできた運輸会社の
倉庫で、障害のある方の
採用を考えているそうです

■障害者就業・生活
支援センター

とくべつしえんがっこう
特別支援学校の
生徒さんを優先に、
希望を聞きましょうか



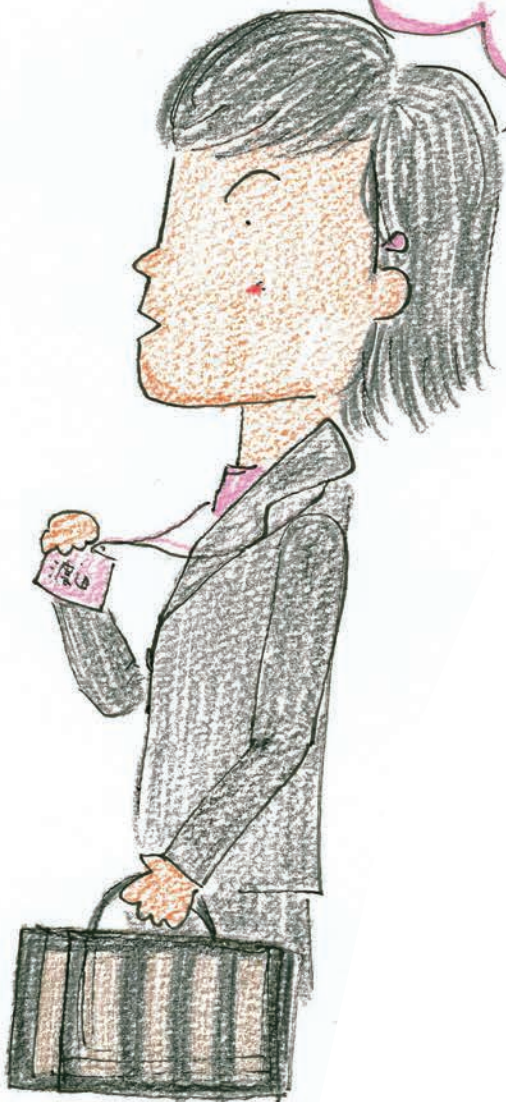
そうですね

希望がなければ、就労移行支援事業所(※)に情報提供をします

※就労移行支援事業所＝就労を希望しそれが可能と判断された障害のある方が、必要な訓練などを身に付ける事業所。

生徒が在校中から、卒業後にメインで支援を行う障害者就
業・生活支援センターの支援員と顔合わせをもらい、
サポートがスムーズにつながるようにしている。
3年時の実習巡回には、支援員にも同行してもらう。

こんにちは
障害者就業・生活
支援センターの
渡辺です



こんにちは
特別支援学校3年A組の
新井周太郎です

新井くんが
卒業した後、
支援してくれる
方ですよ

卒業を迎え、一般就労希望者が彼らに合った職場に巣立っていくのを見るのは、うれしい。そして同窓会で、楽しそうに仕事の様子を話してくれるのを聞くことが、もっとうれしい。



小林さん、
久しぶりですね
がんばっていますか？

先生！
はい、一日も休まないで
働いています



月曜日の朝は
眠いけど、
大きな声で
あいさつをすると
仕事モードになるよ



ねん 年^{すうかい}に数回、卒業生^{そつぎようせい}の働きぶりを見^みに行き、企業^{きぎやう}の担当者^{たんとうしゃ}と話を^{はなし}するのも、私の大切な仕事^{たいせつな じふ}だ。

ときには、企業^{きぎやう}からヘルプコールが^{はい}入ることもある。



さいきん 最近、ちよつと
しゆくちゆくちよく
集中力が落ちて
いるようで
きになりす



かてい 家庭でなにか変化^{へんか}
があつたのかもし
れません
ちよつと本人^{ほんにん}に
きいてみます

じりつ 自立した生活^{せいかつ}を目指^{めざ}して一般就労^{いっぱんしゅうろう}を選^{えら}んだ彼らに、長^{なが}く安^{あん}定^{てい}して働^{はたら}いてもらうことが^かできるよう、関係^{かんけい}する機関^{きかん}との連携^{れんけい}を大切^{たいせつ}に、支援^{しえん}を続^{つづ}けていく。

あ、先生^{せんせい}だ

がんばっているね



船橋市の障害者就労支援事業



障害者雇用推進キャラクター
はーとくん

船橋市では、障害の有無にかかわらず就労希望のある方にチャレンジしてもらおうと、さまざまな事業を行っています。

その中で、商工振興課では以下の取り組みをしています。

◆障害者職場実習奨励金の支給

市内在住の障害のある方を実習として5日以上受入れた事業主に対し、1人1回につき2万円を支給します。市外事業主も対象になります。

◆障害者雇用優良事業所表彰「ふなばし♥あったかんぱにー」

障害のある方を長年雇用する、職場実習を積極的に受入れる、働きやすい職場環境を整えるなどの努力をしている市内事業所を表彰し、その取り組みを広く知らせて参考にしてもらいます。

◆障害者職場実習先開拓事業

障害のある方の職場実習や雇用について、開拓員が事業所アンケート調査に訪問します。受入れを検討する事業所には、特別支援学校や障害者就業・生活支援センターを紹介し、仕事の切り出しから相談してもらえる連携体制を取っています。

その他、市立特別支援学校などの関係機関と連携を密にすることで、障害のある方の就労をより一層推進していきます。

がんばっているね

「障害者雇用推進・啓発イベント『はたらく』ということ」
開催記念絵本⑤

発行：令和3年1月

文責：船橋市経済部商工振興課経営労政係

協力：船橋市立船橋特別支援学校

船橋市湊町2-10-25

TEL：047-436-2477

FAX：047-436-2466